

# 認知症初期集中支援推進事業

参考資料 4

複数の専門職がチームで、家族等の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及び家族を訪問し、専門的なアセスメントや、家族支援等の初期の支援を包括的・集中的（概ね6ヶ月）に行い、在宅生活をサポートします。

## 認知症初期集中支援チーム



医療と介護・福祉の専門職



医師(認知症サポート医)



認知症地域支援推進員

若年性認知症の人を  
継続的に支援

## 【対象者】

40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人

- ◆ 医療・介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人
  - (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
  - (イ) 継続的な医療サービスを受けていない人
  - (ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない人
  - (エ) 診断されたが介護サービスが中断している人
- ◆ 医療・介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している

本市の配置場所

各区 1 か所の地域包括支援センター

# 認知症初期集中支援チーム

## ➤ 取組み経過

年 度	取組み	支援実績
平成26年度	東淀川区でモデル実施	50件
平成27年度	東淀川区・城東区・東住吉区で先行実施	237件
平成28年度	全区で実施	885件
平成29年度	認知症強化型地域包括センターとして位置付け	1,421件
平成30年度	平成29年度と同様に継続実施	1,412件
令和元年度	継続実施	1,302件

# 認知症初期集中支援チーム 業務フロー図

認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族 

広報・普及  
啓発活動

対象者の把握

地域包括支援センター

圏域内  
包括

本事業  
受託包括

地域住民、関係機関、団体等

介護保険  
事業所

保健福祉  
センター

三師会  
医療機関

民生委員  
地域住民

その他  
協力機関

情報収集

## 認知症初期集中支援チーム

包括等と連携し情報収集

初期集中支援  
対象外

初回訪問

※原則4日以内に訪問  
※概ね最長6カ月

圏域包括・協力者等と訪問、アセスメント

(DASC21・DBD13・身体の様子のチェック票・認知症タイプ分類質問票等)

チーム員会議  
(初回訪問後)

【チーム員及び必要に応じて、対象者情報に詳しい者が参加】  
支援方針の検討(訪問支援対象者とするかどうか、支援内容、支援頻度等)

圏域包括、  
情報提供者等へ  
引き継ぐ

初期集中支援  
の実施

- ・医療機関への受診勧奨、鑑別診断への誘導
- ・状態像に合わせた介護サービス利用の勧奨
- ・生活環境の改善について 等
- ・チーム員会議の開催(適宜)
- ・必要に応じて関係機関と同行訪問

連携

関係機関等

- ・地域包括支援センター
- ・認知症疾患医療センター
- ・認知症サポート医
- ・かかりつけ医
- ・医療機関
- ・ケアマネジャー
- ・介護事業者
- ・保健師
- ・行政職員 ...等

初期集中  
支援の終了

チーム員会議において支援終了方針を決定  
主たる支援機関へ引き継ぎ、協働した機関等へ支援終了を報告

モニタリング

引き継ぎ後、2か月以内にモニタリングを実施する

